

ProcessX Web  
**簡単インストール手順**

Ver.2

## ProcessX Web 簡単インストール手順 改訂履歴

2016年02月01日	Ver.2.0.0 版として作成
2016年07月01日	Ver.2.0.1 版として作成
2016年08月25日	Ver.2.0.2 版として作成

このマニュアル内容に関するお問い合わせ先

株式会社 ジェイシエル プロダクト部

〒101-0032

東京都千代田区岩本町 3-11-8 イワモチョウビル

TEL 03-5822-2243

<http://www.yu-icl.co.jp/pxw>

サイト内にお問い合わせフォームがあります。

## 目次

1	インストール概要 .....	3
1.1	システム要件 .....	3
2	簡単インストール手順 .....	5
2.1	簡単インストーラの用意 .....	5
2.2	簡単インストーラの実行 .....	7
3	管理画面の設定 .....	10
3.1	システム管理者の登録 .....	10
3.2	サンプルデータのインポート .....	10
4	ファイアウォールの設定 .....	13
5	クライアント PC からのログイン .....	15
6	困ったときには .....	18

# 1 インストール概要

## 1.1 システム要件

ProcessX Web を導入するには、サーバマシン(1 台)が必要です。

Web ブラウザを起動するクライアント PC は、サーバマシンへネットワーク接続できることが必要です。

なお、サーバマシンとクライアント PC を、1 台の PC で構成して使用することも可能です。

### (1) サーバマシンの Windows OS

以下の Windows OS に関して、動作検証済みです。(32 ビット版、64 ビット版)

- ・ Windows Server 2012 R2
- ・ Windows Server 2012
- ・ Windows Server 2008
- ・ Windows Server 2008 R2
- ・ Windows 7
- ・ Windows 8
- ・ Windows 10

### (2) サーバマシンのメモリ

4GB 以上を推奨します。

### (3) サーバマシンのハードディスク

インストール時に 1GB 以上の空き領域が必要です。

格納するデータ量に応じて、データ保存のための空き領域が必要です。

### (4) サーバマシンへインストールするデータベースおよびソフトウェア

本インストールを実行することで、以下のデータベースおよびソフトウェアをインストールします。

- ・ PostgreSQL 9.4.4
- ・ Apache Tomcat 8
- ・ Java 8
- ・ ProcessX Web 本体
- ・ ProcessX Web 管理画面

PostgreSQL、Apache Tomcat、Java の異なるバージョンが既にインストールされている場合は、本インストールを実行することにより、上記ソフトウェアを使用しているアプリケーションの動作に影響を及ぼす可能性があります。

ProcessX Web 本体を、これらのアプリケーションが既に動作しているサーバにインストールしないことを強く推奨します。

(5) クライアント PC の Web ブラウザ

ProcessX Web にログインして使用する Web ブラウザは、以下について検証済みです。

Windows 版

- ・ Firefox 43 以降
- ・ Google Chrome 47 以降
- ・ Windows Internet Explorer 11

Mac、Linux 上での Web ブラウザについてはお問合せください。

Web ブラウザの種類により、操作性や表示速度などが大きく異なる場合があります。

特に、Windows Internet Explorer 11 では、ジョブ一覧リストのジョブ数が増えると、表示速度が極端に低下します。

Web ブラウザのバージョンアップにより表示速度が改善される場合もありますが、ジョブ一覧リストの操作性を重視する場合、現状では、Windows Internet Explorer 11 以外のブラウザを推奨します。

## 2 簡単インストール手順

### 2.1 簡単インストーラの用意

- (1) 下記ダウンロードサイトより、最新の ProcessX Web 簡単インストーラをダウンロードしてください。

<http://www.yu-icl.co.jp/pxw/download.html>

簡単インストーラは、32bit マシン用と 64bit マシン用の 2 種類に分かれています。

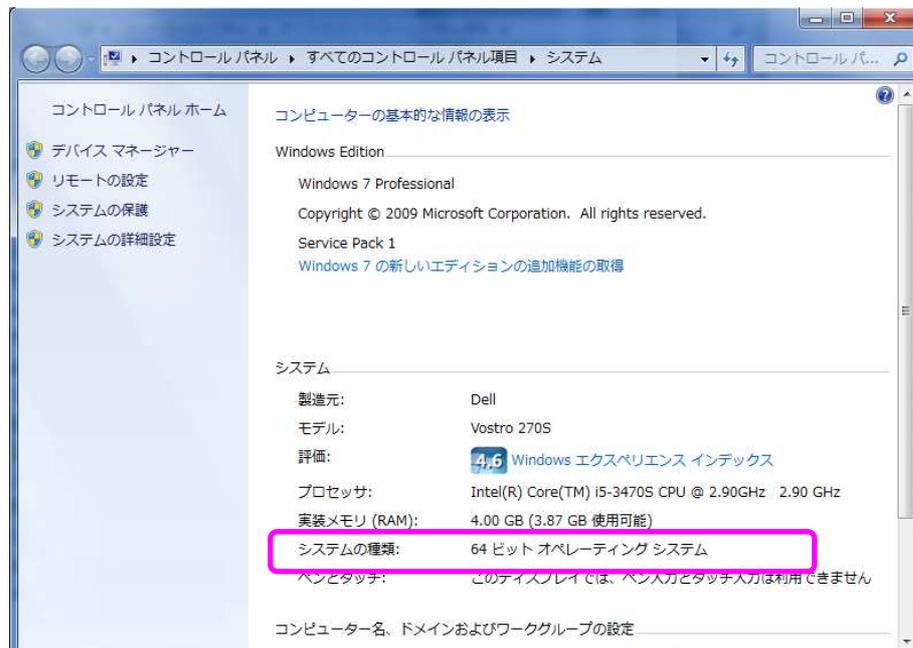
それぞれ、次の名前で圧縮された ZIP 形式ファイルです。

- ・ 32bit マシン用                      PxWebSetup\_PGS32\_2.0.0.0.zip
- ・ 64bit マシン用                      PxWebSetup\_PGS64\_2.0.0.0.zip

※ 2.0.0.0 の部分は、バージョン番号により異なります。

- (2) インストールするマシンの Windows OS のタイプ (32bit or 64bit) に適合したインストーラを選んでください。

Windows OS のタイプ (32bit or 64bit) は、Windows のコントロールパネルから「システム」ダイアログを起動して、「システムの種類」の項目で確認することができます。

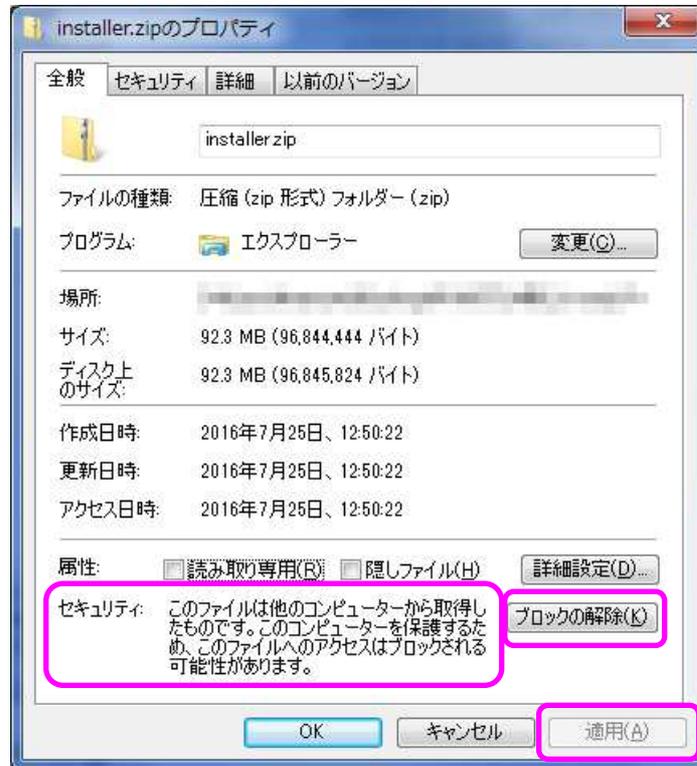


- (3) ダウンロードした ZIP ファイルを解凍してください。

次のファイルが同梱されています。

- |                  |                          |
|------------------|--------------------------|
| installer.zip    | : インストーラの ZIP 圧縮ファイル     |
| release_node.pdf | : リリースノート                |
| ドキュメント           | : インストール手順、マニュアルを収めたフォルダ |
| サンプルデータ          | : サンプルデータを収めたフォルダ        |

- (4) インストーラの ZIP 圧縮ファイルを解凍する前に、必ず以下の操作を行ってください。  
Installer.zip ファイルを右クリックして、コンテキストメニューを呼び出します。  
メニューから「プロパティ」を選択すると、次のダイアログが現れます。



- (5) ダイアログ下部の「セキュリティ」の欄に、  
「このファイルは他のコンピューターから取得したものです。．．．．」  
のメッセージが表示されているときは、右側の「ブロックの解除」ボタンを指定し、下側の「適用」ボタンを押してください。  
この警告がついたままでファイル解凍すると、インストール処理がエラー終了する場合があります。

- (6) 次に、installer.zip ファイルを解凍します。  
解凍パスワードを求められるので、「pxw2」と入力します。  
簡単インストーラは、次のようなファイル／フォルダで構成されています。

pxweb_set_up.exe	: インストーラの起動コマンド
ファイアウォール	: ファイアウォール設定用フォルダ
PXW	: ProcessX Web 本体インストーラフォルダ
PostgreSQL32/ PostgreSQL64	: PostgreSQL インストーラフォルダ

## 2.2 簡単インストーラの実行

インストール実施にあたり下記事項についてチェックし、問題がないことを確認した上で実行してください。

インストールは、インストールする Windows マシンの管理者権限ユーザが実行してください。  
インストールは、他のユーザやプログラムが使用していない状態で行ってください。  
他のユーザやプログラムが使用してサーバ負荷が高い場合には、インストール処理が正常に実施されない場合があります。

インストール実行時には、サーバマシンのネットワーク(TCP/IP)が有効になっている必要があります。  
LAN ケーブルが接続されていない、または無線 LAN 接続が確立されていない場合は、データベース (PostgreSQL) へのログインができないため、インストールは正常に完了できません。  
サーバマシン単体で使用する場合でも、ネットワーク(TCP/IP)は有効の必要があります。

ウイルス対策ソフトによっては、インストール操作を抑止したり、ファイアウォールを過度に保護したりするものがあり、ProcessX Web のインストールや環境設定が失敗する場合があります。  
また、監視ソフトや保護ソフトが、パスワード入力を勝手に遮断したり制限したりする場合があります、インストールが完了しないことがあります。  
インストールが上手くいかない場合は、これらのソフトを一時的に停止してから実行してください。  
サーバマシンにバンドルされ、ユーザが気づかないまま動作している監視ソフトや保護ソフトもありますので、事前にチェックしてください。

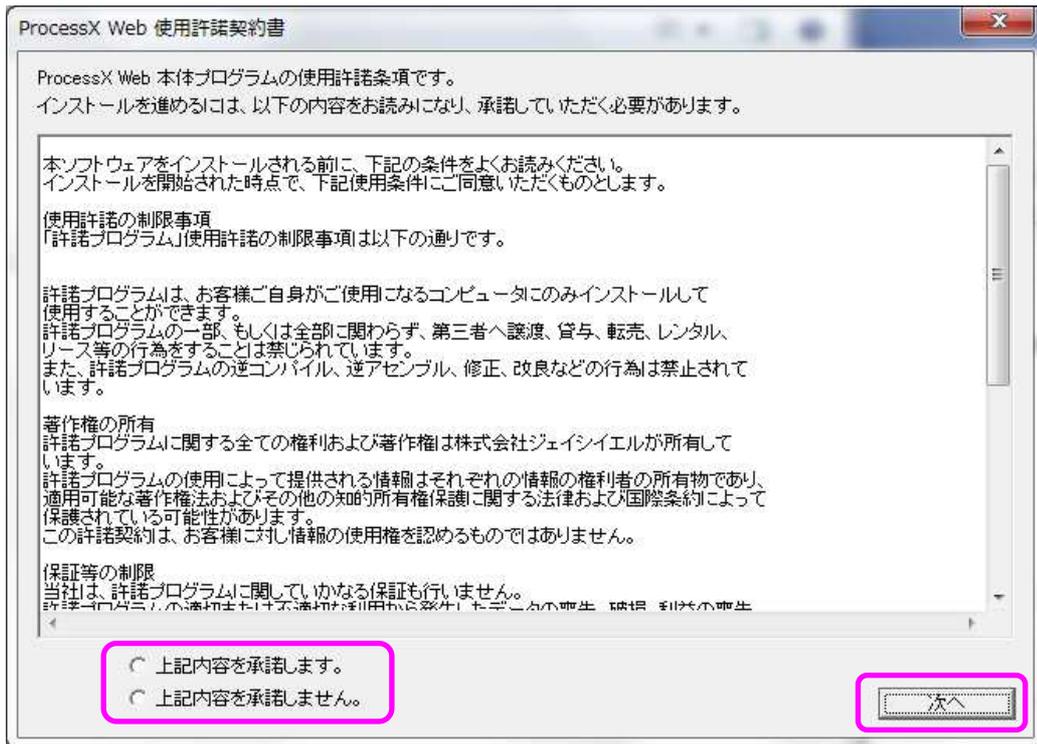
### (7) 簡単インストーラの起動

簡単インストーラのフォルダ内にある「pxweb\_set\_up.exe」を実行してください。



### (8) ソフトウェアの使用許諾条項が表示されます。

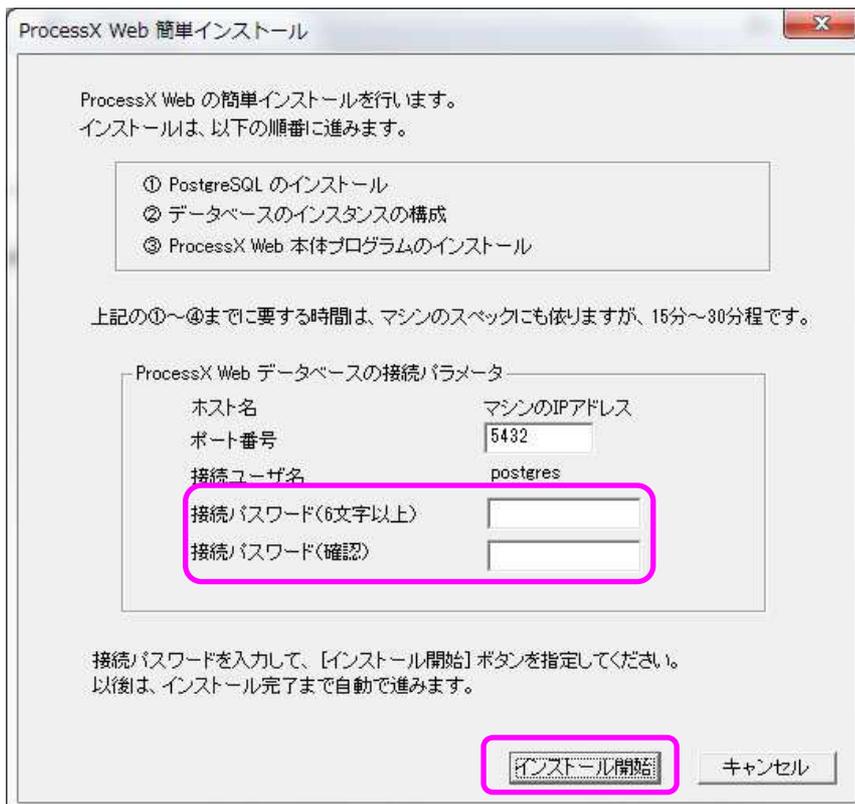
インストールを続行するには、使用許諾条項を承諾いただく必要があります。



#### (9) 接続パスワードの入力

次のダイアログが現れ、インストールの流れを説明するとともに、ProcessX Web データベースへの接続パラメータが表示されます。

ProcessX Web データベースへの接続パラメータは、「接続パスワード」以外は固定値となっています。



「接続パスワード」を入力してください。

「接続パスワード」は、ProcessX Web データベースを管理する上で重要ですので、忘れないようにメモしてください。

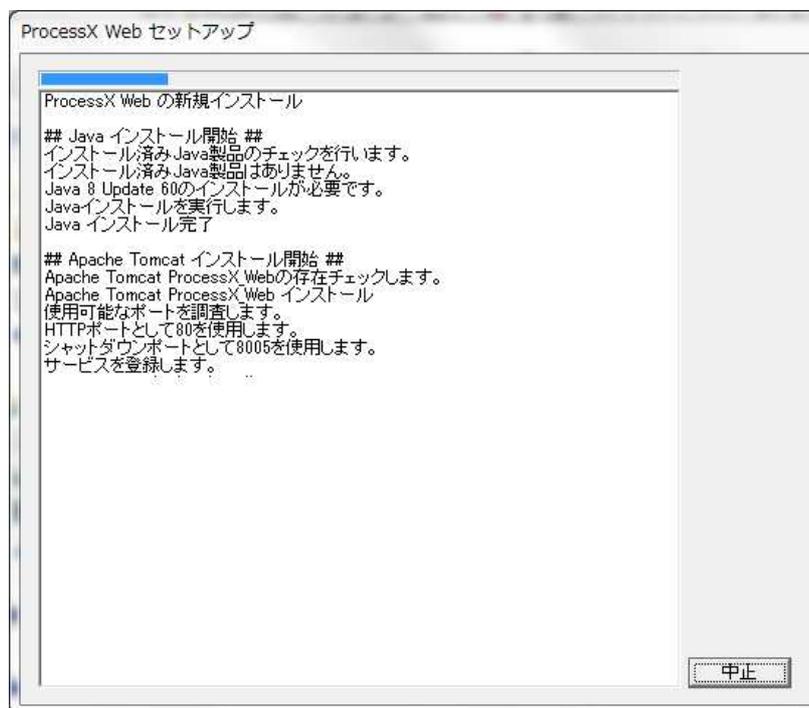
「インストール開始」ボタンを押すと、ProcessX Web のインストールが開始します。

以後は、インストール完了まで、基本的に自動で進みます。

インストールに要する時間は、マシンのスペック等にも依りますが、およそ 15 分～30 分程です。

#### (10) ProcessX Web 本体のインストール（自動進行）

一連のインストール処理の最後に、ProcessX Web 本体のインストールが実行されます。



ProcessX Web 本体のインストールが完了すると、次のダイアログが表示されます。

「OK」を押すと、自動的に管理画面が起動します。

次項の「管理画面の設定」へ進んでください。



## 3 管理画面の設定

### 3.1 システム管理者の登録

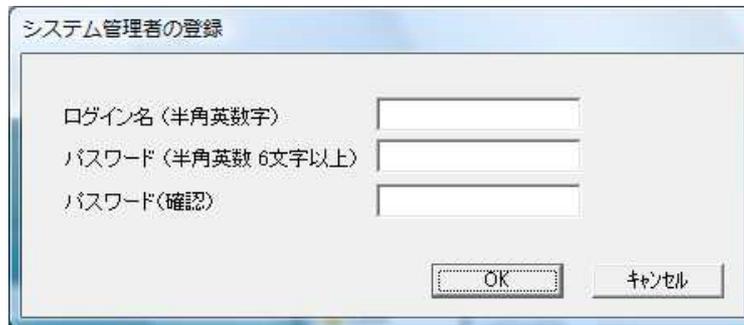
ProcessX Web のインストールが完了したら、ProcessX Web の管理画面にログインできる管理者を登録します。

管理画面は、インストールが完了すると自動的に起動されます。

手動で起動する場合は、

「スタートメニュー」→「全てのプログラム」→「ProcessX Web」→「ProcessX Web 管理画面」を指定します。

管理画面を起動して現れる次のダイアログで、管理者のログイン名とパスワードを登録します。



システム管理者の登録

ログイン名 (半角英数字)

パスワード (半角英数 6文字以上)

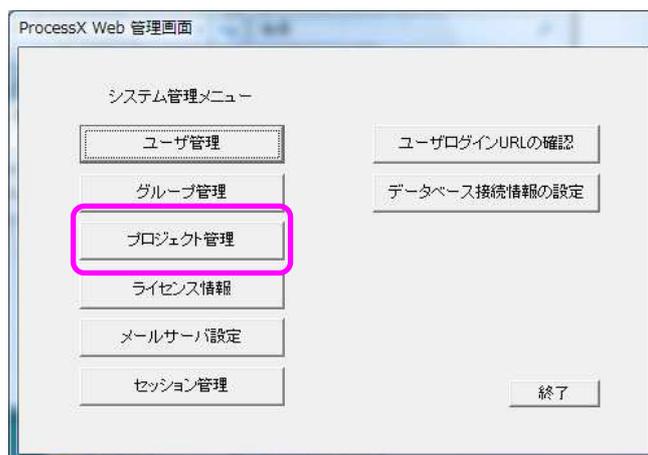
パスワード(確認)

OK キャンセル

### 3.2 サンプルデータのインポート

システム管理者を登録すると、システム管理メニューが表示されます。

ProcessX Web の操作確認を行うために、サンプルデータをインポートします。



ProcessX Web 管理画面

システム管理メニュー

ユーザ管理 ユーザログインURLの確認

グループ管理 データベース接続情報の設定

プロジェクト管理

ライセンス情報

メールサーバ設定

セッション管理 終了

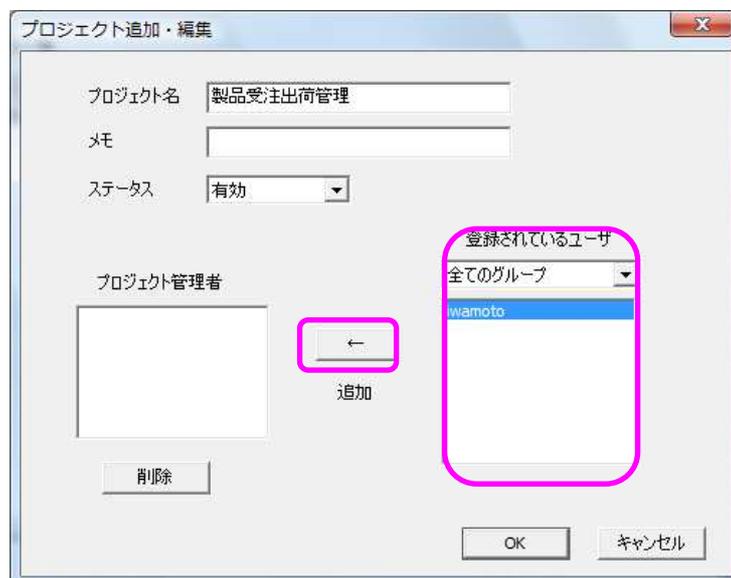
メニューから「プロジェクト管理」ボタンを指定します。

次の「プロジェクト一覧」ダイアログが表示されます。



次に、インポートしたサンプルデータに、プロジェクト管理者の設定を行います。

プロジェクト一覧でインポートしたプロジェクト(製品受注出荷管理)を選択し、「プロジェクト編集」ボタンを押すと、次のダイアログが現れます。



「登録されているユーザ」からひとつを選択し、「追加」ボタンを押してプログラム管理者を設定します。

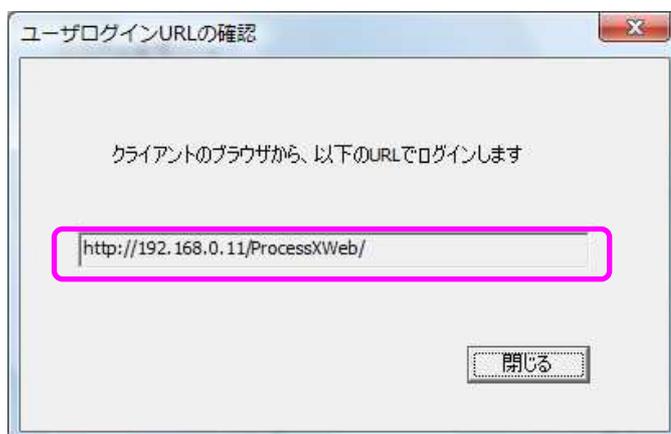
まだユーザ登録を行っていない場合は、システム管理者の ID のみが選択できます。

「プロジェクト管理者」にユーザが追加されたら、「OK」ボタンを押して、ダイアログを閉じます。

以上で、ProcessX Web の動作確認を行うための設定が完了します。

管理画面のシステム管理メニューの「ユーザログイン URL の確認」ボタンを押すと、クライアント PC から、この ProcessX Web サーバへログインするための URL が確認できます。

この URL は、Web ブラウザからのログイン時に必要となるのでメモしておいてください。



## 4 ファイアウォールの設定

サーバの Windows OS は、セキュリティのためのファイアウォール機能が動作しているため、デフォルト状態ではクライアント PC から接続することはできません。

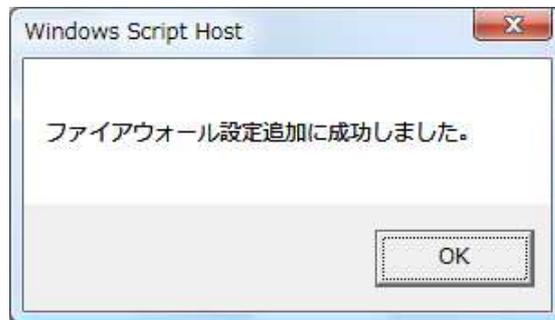
以下の手順で、ProcessX Web へ接続できるように、ファイアウォールを設定します。

なお、特別なセキュリティソフトウェアを導入してファイアウォールを管理している場合は、そのソフトウェアの設定手順に従ってください。

- (1) インストーラの「ファイアウォール」サブフォルダを開きます。

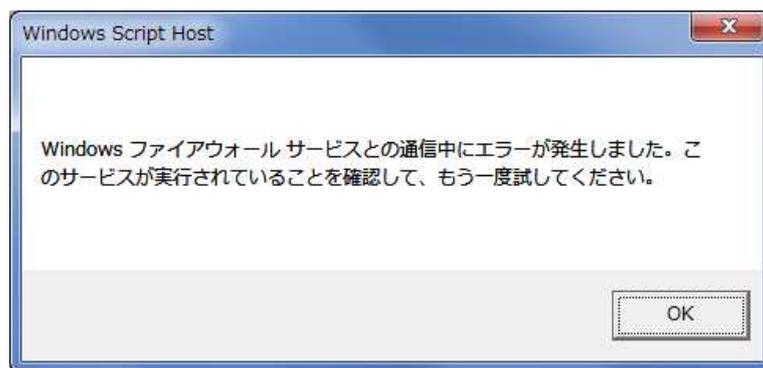
フォルダ内にある「tomcat\_firewall\_add.vbs」をダブルクリックして実行します。

コマンドプロンプトの画面が表示された後、しばらくして以下のダイアログが表示され、ファイアウォールの設定が完了します。



- (2) ファイアウォール設定時に以下のダイアログが現れる場合は、サーバ OS のファイアウォールのサービス自体が起動されていません。

意図的に起動していない場合は、ファイアウォール設定は不要ですので、スキップしてください。



- (3) ファイアウォールの設定で、

「要求された操作には管理者特権が必要です。」

というメッセージが出る場合は、管理者権限のあるユーザでログインして実行してください。

Windows のユーザアクセス制御 (UAC) の設定によっては、管理者権限のあるユーザでも上記メッセージが現れる場合があります。

この場合は、以下の手順でユーザアクセス制御 (UAC) を一時的に OFF にして、ファイアウォール設定を

実行してください。

① ユーザーアカウントのダイアログの呼び出し

Windows 画面の

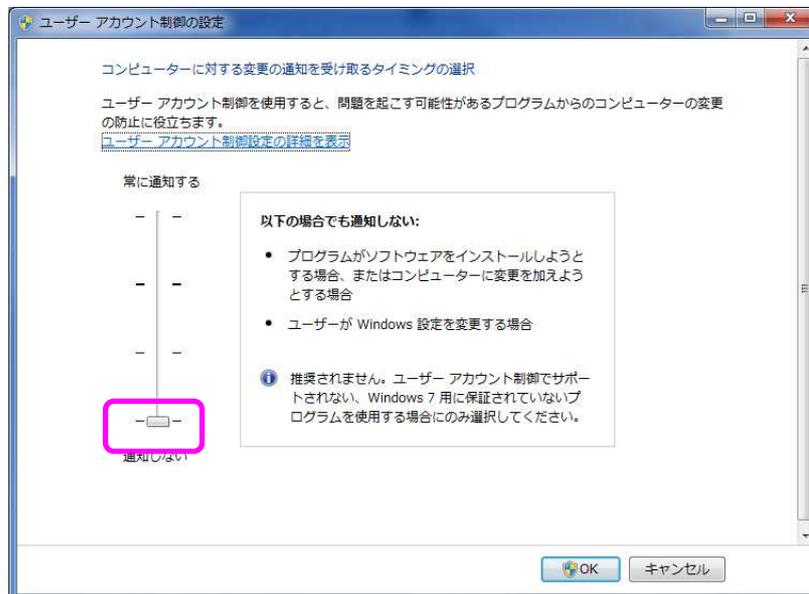
「スタートメニュー」→「コントロールパネル」→「ユーザーアカウント」

で、ユーザーアカウントのダイアログを呼び出します。

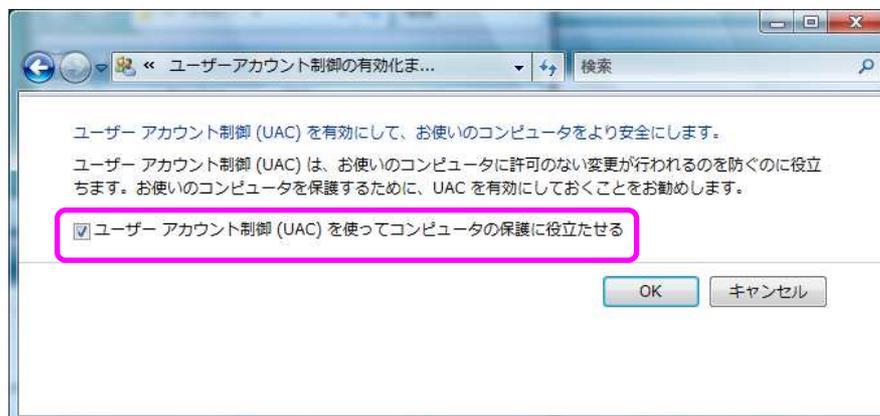
② ダイアログ内にある「ユーザーアカウント制御設定」を指定して、設定を変更します。

ユーザーアクセス制御 (UAC) は、Windows の OS のバージョンにより、レベル設定する場合と ON/OFF 設定する場合があります。

レベル設定する OS の場合は、以下のように一番下のレベルに設定してください。



ON/OFF 設定する場合は、以下のチェックを OFF に設定してください。



いずれの場合も、ユーザーアカウント制御設定を変更した場合は、サーバマシンの OS の再起動が必要です。

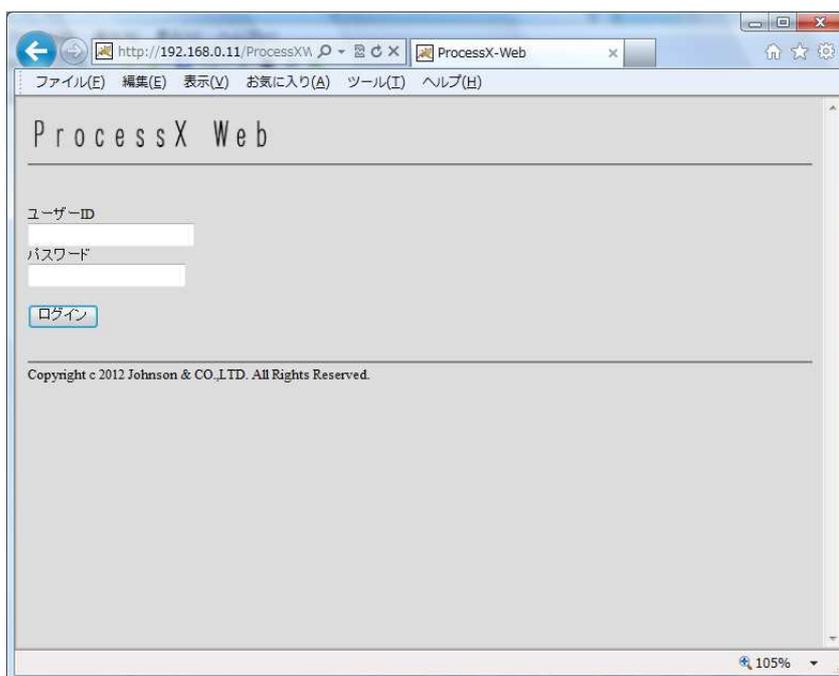
## 5 クライアント PC からのログイン

クライアントの Web ブラウザからログインして、ProcessX Web の動作確認を行います。

クライアント PC は、ProcessX Web サーバへ接続できるネットワーク上の PC を使用します。

なお、ProcessX Web 本体をインストールしたサーバ上で Web ブラウザを起動して動作確認することもできます。

- (1) 使用する Web ブラウザの種類およびバージョンを確認します。  
「1.1 システム要件」の記載内容に合致するか確認してください。  
システム要件に適合しない Web ブラウザでは、正常に動作しない可能性があります。
- (2) Web ブラウザの URL 欄へ、ProcessX Web サーバへのログイン URL を入力します。  
ログイン URL は、管理画面の「ユーザログイン URL の確認」で表示されます。
- (3) 次のログイン画面が現れます。  
ログイン画面が現れない場合は、「6 困ったときには」の項を参照してください。



ユーザ ID、パスワードは、サンプルデータのプロジェクト管理者に設定したユーザのものを指定してください。(プロジェクト管理者の設定時にシステム管理者の ID を指定した場合は、システム管理者の ID、パスワードとなります。)

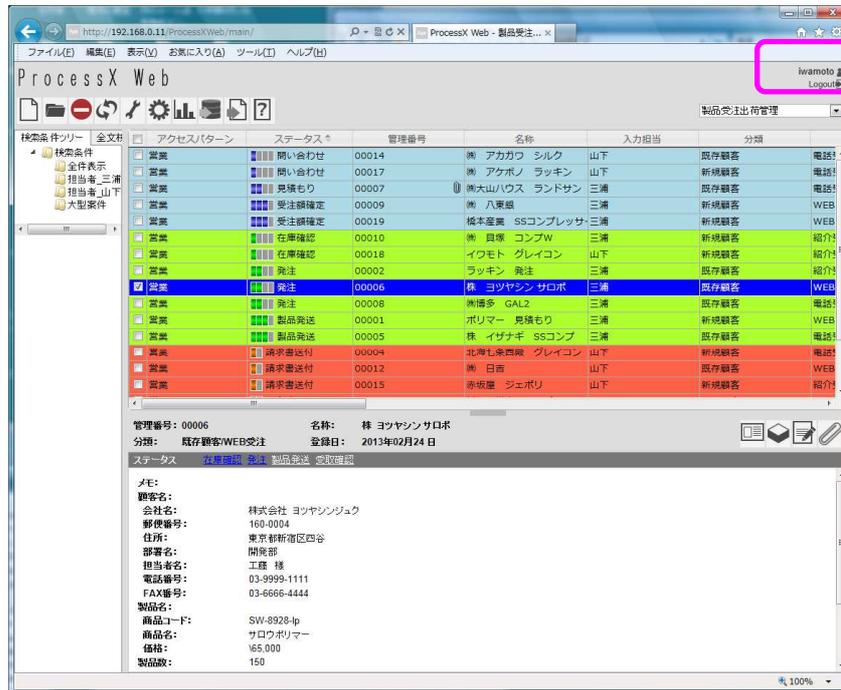
正常にログインできると、以下のような画面が表示されます。

以後は、別冊の、

- ・チュートリアルガイド
- ・ユーザマニュアル

等を参照して、ProcessX Web を使用してください。

ログアウトするときは、画面右上の「Logout」ボタンを指定してください。



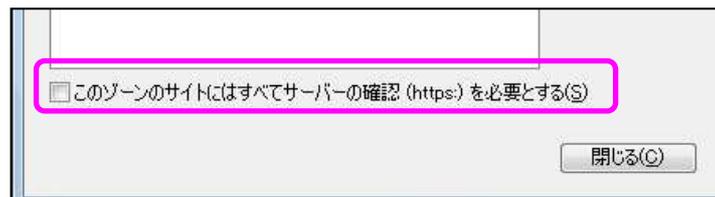
- (4) Web ブラウザからログインして、エラー等は表示されていないが、画面に何も表示されない場合は、使用しているブラウザが、システム要件に適合しているか確認してください。
- (5) システム要件に適合しているのに画面に何も表示されない場合は、ブラウザのセキュリティレベルに依存している場合が大半です。

Internet Explorer の場合は、以下の手順で、ProcessX Web サーバを「信頼済みサイト」へ登録してください。

- ① ProcessX Web のログイン画面が表示されている状態で、ブラウザの設定ダイアログ(インターネットオプション)を開き、「セキュリティ」タブを選択します。
- ② 「信頼済みサイト」をクリックし、「サイト」ボタンを押します。
- ③ 「信頼済みサイト」の登録ダイアログに、ProcessX Web サーバの URL がエコーされます。エコーされていない場合は、次の URL を指定します。

http://

- ④ 「このゾーンのサイトは全てサーバの確認(https)を必要とする」のチェックを OFF とします。
- ⑤ 「追加」ボタンを押して、ProcessX Web サーバを信頼済みサイトに登録します。



## 6 困ったときには

インストールや動作確認で上手くいかない場合は、まず、以下のドキュメントを参照し、項目に該当がないかどうか確認してください。

ProcessX Web システム管理マニュアル 「8章 困ったときには」

これで解決できない場合は、ProcessX Web サポート宛に遠慮なくお問い合わせください。